

杏林大学大学院保健学研究科
平成27年度春学期在学生による研究報告会および論文発表会プログラム

7月17日(金) K棟8F大会議室

在学生の研究報告:修士発表10分、質疑7分(計17分)／博士発表15分、質疑10分(計25分)

論文発表:修士発表15分、質疑10分(計25分)

論文発表者

時間	演者	分野	指導教員	題名	座長
大瀧研究科長 開会の辞					
9:10-9:35	保博5S 島田 正亮	保健学	大瀧教授	児童養護施設における措置変更要因に関する研究	川村教授
9:35-10:00	保修5S 大谷 正紀	救急救命学	和田教授	死体血における血中アセトアルデヒド濃度測定を検討	川村教授
10:00-10:25	保博5S 三宅 英司	リハビリテーション科学	八並教授	バドミントン選手の傷害に関する縦断的傷害調査と傷害に影響を及ぼす身体的要因の検討	丹羽教授
10:25-10:50	保博3S 原田 祐輔	リハビリテーション科学	下田教授	脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題遂行能力の検討 －損傷半球により反応時間と正答率に差異はあるか－	丹羽教授
10:50-11:07	保修3S 清水 夏生	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	回復期脳卒中入院患者における身体活動量の実態および生活機能との関連	八並教授
11:07-11:32	保博3S 鈴木 優喜子	リハビリテーション科学	下田教授	AMPSはMMSEやADL・IADL量的評価で捉えられない認知症者の特徴を捉えることができるのか	八並教授
11:32-11:57	保博3S 澁井 実	リハビリテーション科学	下田教授	統合失調症患者における手の心的回転課題遂行能力と精神症状・認知機能・社会生活能力との関連	八並教授
昼休み					
13:30-13:55	保博3S 田村 陽介	臨床検査・生命科学	川澄教授	ab initio計算によるパニロイドの立体配座と反応性に関する研究	岡田教授
13:55-14:12	保修3S 山内 大輔	臨床工学	副島教授	血液透析における抜針検知システムに関する検討	四倉教授
14:12-14:29	保修3S 古関 正俊	臨床工学	嶋津教授	治療用レーザー至適照射システム構築の検討	四倉教授
14:29-14:54	保博3S 水島 岩徳	臨床工学	嶋津教授	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)における気流動態に関する研究	四倉教授